

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	関係人口創出・拡大事業												
事業担当	所属	市長公室 経営戦略課				所属長	谷口 学						
会計情報	事業コード	220113	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 国委託事業)												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	移住定住促進事業、広域連携事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	国では、急激な人口減少・少子高齢化が進むなか、東京圏への過度な人口集中を是正し、地方への人の流れをつくることを目的に移住・定住施策を推進してきた。これまで実施してきた施策を検証するなかで、地方においては地域づくりや地域コミュニティを確保するための担い手の育成・確保という課題に直面していることや、居住地以外の地域と関わる機会が多様化していることに鑑み、地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」に着目した施策に取り組むことによって、人口減少問題や地域づくりの担い手不足といった課題解決を図ることを打ち出した。福知山市においても、人口減少・少子高齢化により地域づくりの担い手の育成・確保という課題に直面しており、関係人口の創出・拡大を図るとともに、その後の移住定住の促進にもつなげていく。								
対象者	京阪神に就職・進学した地縁のある若者、地域に関心のある社会人			対象者数	359	単位あたりコスト	23.3		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山公立大学								
事業概要 (簡易書き)	・国が地方自治体に委託するモデル事業に応募し、受託者として実施。 ・福知山公立大学に事業委託し、丹波市・朝来市と連携して事業を実施した。 ・事業内容は、①地域の特色ある地域資源を巡るふるさと再発見ツアー。 ・②京阪神に住む学生と地元の中高生が地域社会の課題をめぐって意見交換を行うワークショップ。 ・③京阪神在住の地元出身者や都市に在住する若者を対象に、北近畿地域への関心を高め、現地に行きたいという思いを盛り上げるためのシンポジウム。 ・④都市部に住む社会人を対象に、地元の農家や事業所で1～2週間程度の期間、労働体験を通じて地域の魅力を知ってもらう移住体験ツアー。 ・⑤移住希望者、地域で主体的に活動する地域リーダー、大学生、参加者によるテーマを設定したワークショップ。 ・⑥地元高校卒業生とその保護者を対象とした地元地域に対するアンケート調査、⑦地元の高校卒業生を対象としたアンケート調査、⑧観光客アンケート調査								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	11	シンポジウムでのアイデアコンテスト入賞者への副賞						
	旅費	306	成果報告会出席旅費						
	委託料	6,438	福知山公立大学への委託料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0		
	② 補正予算	0	8,959	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0		
小計(①～③)	0	8,959	0	0	0	0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0		
	② 国支出金	0	8,959	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0		
	② 配当予算	0	8,959	0	0	0	0		
	③ 執行額	0	6,755	0	0	0	0		
	④ 執行率		75.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.20	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費		1,600		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	8,355		0			0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	総務管理費委託金	種類	総務費国庫委託金	実績金額	6,743	決算付属資料	22	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業への参加者数	人			359 / 540	/	540		
	ふるさと会員登録者数	人			562 / 400	/	400		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	関係事業実施数	事業			8 / 8	/			
	単位あたりコスト				844.36	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人口減少問題や地域づくりの担い手不足といった課題解決を図るために、新たに国が推進する施策であり、福知山市においても人口減少や少子高齢化問題に対応するための施策であり必要性は高い。また、全国に先駆けたモデル事業として国が地方自治体に委託するものであるため、市が実施する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	福知山公立大学への委託事業として実施したことによって、地元の大学生と都市部の大学生との交流を図る上でより効果的に事業を進めることができた。また、地域の関係者と連携する上で、福知山公立大学は地域協働型実践教育として、地域との交流活動を通じた地域課題解決に向けた演習を行っており、地域との連携や地域活動家と連携する上で円滑に事業を進めることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	関係人口に関する成果指標は、将来的な移住定住につながった人数のみならず、地域コミュニティ活動支援者数もあり、成果の確認が困難なところである。今回はモデル事業として実施したため、事業の着実な実施と事業実施によるPR効果によって他地域に住みながら福知山市を応援するふるさと応援者数を増加することを成果としたが、全国的にも関係人口の拡大・創出を測る成果の把握は今後の研究課題である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	計画通り事業を実施することによって、関係人口拡大・創出のきっかけにつながったが、各事業への参加者数は目標値を下回り、募集方法や事業PRに課題があった。しかし、結果的に地域の応援者であるふるさと会員数は目標を達成できた。また、本事業を機に2名の移住者があり、成果指標として設定していなかったが、事業目的である移住定住の促進にもつながった。ただし、モデル事業として、関係人口の拡大・創出にかかる有効な取組の一般化に向けた整理が十分できなかった部分はある。		
これまでの課題及び今後の方向性	総務省が委託するモデル事業として、事業の進捗や実績を一元的に管理する必要があるため、事業の総括的な立場として経営戦略課の所管事業として実施したが、今後は事業担当課が主体的に実施するものであり、今回実施した手法を活用しながら、まちづくり推進課の所管事業のなかで事業を継続していく。また、本事業において連携した丹波市、朝来市とは事業の効果的かつ効率的な実施を目指して、継続して連携する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の成果指標を整理する必要があると感じる。 ・事業のターゲットは明確であるが、そこへのアプローチ方法が充分でないと感じる。 ・本事業は関係人口を創出するためのものが啓発やPRを行う仕掛けづくりなのか、また移住・定住につなげるものなのか、その定義が曖昧と思われ、ターゲット、到達点が見えてこない。 ・移住人口増としても、その人が「納税く経費」であれば、人口が増えても市の財政は潤わないので、ふるさと納税やある特定イベントへ労働力として協力してもらう形の方が、経費が少なく、収入や労働力を確保できるので良いと思うが、この事業をどう活用していくのかがよく分からなかった。 ・アンケート等の成果を今後の事業にどのように活かしていくか、課題及び方向性に明示が必要なのではないか。 ・今後の展開としては、今回の手法も活用しながら、次のステージの事業展開に移行していく必要があると考えられる。 ・将来的な関係人口を構築するためのワークショップでは、中・高校との積極的な連携を持ってほしい。
事中事業評価	

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	丹波市・朝来市との連携により実施した事業であり、事業の効果検証を踏まえて、2市との広域連携事業において事業の内容を見直し、継続して実施することを検討していく。特に関係人口の定義は広く、その成果検証が困難であるため、効果測定の手法や、地域創生につなげるために、関係人口の創出・拡大に何を期待するのかも含めて3市の関係課で協議、検討を行い、新たな事業内容として見直しを行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	移住・定住促進事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	220106	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86・88	頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略							
根拠法令等	京都府移住の促進のための空き家及び耕作放棄地等活用条例、福知山市移住促進事業補助金交付要綱、空き家情報バンク制度要綱、空き家改修費補助金交付要綱、福知山市移住支援金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを推進する。 若年層や子育て世代をはじめ、あらゆる世代の交流・地域体感などの機会を提供し、移住・定住人口の増加による地域振興を図ることを目的とする。												
対象者	移住希望者・移住者受入地域	対象者数	38,238	単位あたりコスト	1.3								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社ツナグム(移住促進Webサイト保守管理)												

事業概要 (箇条書き)	(1) 移住希望者、移住者に関する支援・情報発信等(移住促進Webサイト運営、移住情報誌作成、フェア出展等) (2) 農山村地域の活性化、集落維持を目的とした空き家の利活用促進支援(空き家バンク制度運営、改修費補助金等) (3) 受入地域支援など意識醸成(各地域協議会との連携、特別促進区域指定に関する支援) (4) 地域連携都市圏負担金(7市町協働での情報発信、移住希望者分析など)												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	旅費	199	イベント等参加										
	需用費・備品	1,553	消耗品、情報発信タブレット購入										
	役務費・使用料	1,202	郵送料、タブレット通信料、郵送料、WEBサーバ使用料、コピー機賃借料										
	委託料	496	移住促進Webサイト保守管理業務 委託料										
補助金	17,542	空き家バンク利用者改修補助金											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	23,071	19,370	34,897	56,916
	② 補正予算	0	11,600	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	23,071	30,970	34,897	56,916	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	15,602	27,958
	② 国支出金	1,598	1,773	573	573
	③ 府支出金	9,603	14,492	18,722	28,385
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	11,870	14,705	0	0
決算情報	① 流充用額	0	△ 19	0	0
	② 配当予算	23,071	30,951	0	0
	③ 執行額	15,626	20,992	0	0
	④ 執行率	67.7%	67.8%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・兼任職員)	2.84/1	3.32 / 1.00	3.32 / 1.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	25,220	29,060	29,060	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	40,846	50,052	29,060		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	総務費府補助金	実績金額	4,263	決算付属資料	24	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	9,281	決算付属資料	38	頁
	特財名称	京都府農業振興事業費補助金	種類	総務費府補助金	実績金額	4,290	決算付属資料	24	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	制度利用による定住者数	人	10/20	34/20	31 / 20	/ 20	/ 20
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	新規移住希望者名簿登録数	件	65/100	81/100	97 / 100	/ 100	200
	単位あたりコスト		251.00	192.91	216.41		
	HP閲覧回数	回	17,725/10,000	22641/10,000	32,419 / 10,000	/ 10000	35000
単位あたりコスト		0.92	0.69	0.65			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・都市住民の地方への移住志向とニーズは高い。 ・過疎高齢化、少子化など人口減少に伴う地域活力低下という課題への対応策として、地域住民のニーズは高い。 ・地域協議会など、民間団体による移住(希望)者支援のためのネットワークづくりに取り組んでいる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度のあり方、適用範囲など空き家バンク制度の運用方法は近隣市の状況、利用者のニーズも参考にしつつ、対応している。 ・従来からある府の補助金が利用できる移住特区を拡大することで、移住希望者にとってより広範囲で有利な補助が利用できるよう取り組んだ。 ・優良物件の確保が本事業の成否を左右する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト、情報誌配架、移住フェア出展など、様々な手段による情報発信と地域意識の醸成で、空き家物件数・情報登録者・空き家物件成約数は増加している。移住者数増加など成果を含め、受入れ地域・移入者の満足度の高い取組みを進める。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			<ul style="list-style-type: none"> ・近年の地方移住の国全体の施策や、本市独自のWEBなどの情報発信、各種支援制度の構築などにより、空き家バンク制度の利用者数や空き家物件、成約数などの実績は全て増加傾向にある。 ・受入体制が整っている地域も増加しており、地域協議会主催の移住者交流会の開催や空き家物件の登録、農家民宿の開業に向けた取組みなどの効果が出てきている。今後もまちづくり協議会や自治会など受入地域と連携し事業を進めていく。 ・移住促進Webサイトは内容を充実させ好評である。今後も継続して質の向上に努めるとともに、都市部でのPR活動と併せて移住希望者の新規登録に結びつけていきたい。
これまでの課題及び今後の方向性			<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー型福知山暮らし体感ツアーやふくちやまワークステイ、移住特別促進区域の住民説明などを地域協議会等の地域団体と協働で実施することで、受入地域の更なる意識醸成を図るとともに、移住(希望)者と地域を繋げることで、関係人口の増加や人が人を呼ぶ循環を生み出していくとともに、多くの優良空き家物件の掘起しに繋げる。 ・まちづくり協議会への支援により、府の指定する移住促進特別区域の拡大ができた。特区指定後の空き家情報バンクへの登録を促進する。 ・移住促進Webサイトや情報誌など、常に内容を更新、精査し移住関心層へ必要な情報が届くよう情報発信に努めていく。

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	移住者の増加に伴う地域受入れ体制の強化、効果的な情報発信に取り組む

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	内宮参道活性化事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課				所属長	谷口 智広						
会計情報	事業コード	220135	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市地域おこし協力隊員設置要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	人口減少、高齢化、空き家増加など集落機能の低下や担い手不足が重要な課題となっている農山村地域において、都市部より移住し、地域協力活動を行う地域おこし協力隊を配置し、地域課題の解決や地域の維持・活性化を図る。								
対象者	大江町北部地域の受入地域を中心とした大江地域			対象者数	669	単位あたりコスト	11.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	地域おこし協力隊								
事業概要 (箇条書き)	空き家に移住者を受け入れて地域おこしを行う地域に対し、市が委嘱した地域おこし協力隊(ふくちの村来人)を配置する。 ・大江町北部地域(内宮、毛原、北原、佛性寺) 【隊員の活動内容】 ・地域内の交流拠点を活かしたまちづくり活動、地域内外の人的交流の推進及び移住促進に向けた取組 ・移住希望者への情報発信、相談、支援								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	報酬・旅費	2,449			200千円×12か月、研修会参加旅費				
	報償費・負担金	45			イベント講師謝礼、研修参加費				
	需用費	163			ガソリン代、イベントチラシ、プリンターインク等				
役員費・使用料	666			インターネット通信料、自動車保険、隊員家賃、PC・公用車リース料					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,510	3,509		0		0		
	② 補正予算	0	0		0		0		
	③ 繰越予算	0	0		0		0		
	前年度繰越	0	0		0		0		
	次年度繰越	0	0		0		0		
小計(①～③)	3,510	3,509		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	3,510	3,509		0		0		
	② 国支出金	0	0		0		0		
	③ 府支出金	0	0		0		0		
	④ 地方債	0	0		0		0		
	⑤ その他特財	0	0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0		
	② 配当予算	3,510	3,509		0		0		
	③ 執行額	3,418	3,323		0		0		
	④ 執行率	97.4%	94.7%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.21/0	0.23	/	1.00	/	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,680	4,340		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,098	7,663		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称	種類		実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称	種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	任期後定住した人数	人	0/1	0/1	0 / 1	/	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	活動報告	事業	1/1	1/1	1 / 1	/	1		
	単位あたりコスト		2837.00	3418.00	3323.17				
	イベント活動参加・実施	回	35/40	86/51	92 / 51	/	51		
単位あたりコスト		81.06	39.70	36.12					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象地域は、過疎法、山村振興法等のエリアであり、著しく過疎高齢化、少子化の進んだ地域であるため、地域住民のニーズは高い。 ・移住、定住など民間での取り組みもあるが、効果的に事業を推進する点で優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決や移住促進など、地域を特定して活動を行う点で効率が良い。 ・地域活性化という点では、活性化への取組が多岐に渡り、効果発現まで一定の時間を要することから即効性は薄い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の実績は日報等、ミーティングにより把握している。 ・活動の拠点である「いづみや」において、観光客等の休憩所としての利用や地域住民が参加できるイベントを実施し、地域の資源を活用することができた。 ・隊員と受入団体や団体、地域などとの調整が不足した点もあり、一定の効果はあったものの、地域活性化には至っていない。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点としての「いづみや」の活用は、地域住民等の協力を得ながら実施できた。 ・地域課題の解決や地域の維持・活性化については、受入団体や地域住民との調整に困難な点もあり、大きな成果とはなっていないものの、地域活性化や資源の活用について、地域住民に示すことができた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員活動は、主軸は地域協力活動であり、受入地域との建設的な意見交換と協働が重要であるため、丁寧な信頼関係づくりのための支援が必要。 ・地域振興を目的とした他課が配置する隊員の活動などの情報収集と共有を意識的に行う必要がある。 ・各課事業の隊員同士の情報交換の機会を今後もつくっていく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	隊員の期間終了により事業終了

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	お試し住宅管理事業(三和地域)									
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗		
会計情報	事業コード	530164	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計 決算付属資料 92 頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する						
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	福知山市お試し住宅条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市外から福知山市へ移住を希望している人が一定期間本市の気候、風土及び生活を体験できる施設として、市営みわ上川合住宅(二戸一棟)をお試し住宅として整備し、移住・定住の促進につなげることを目的とする。								
対象者	市外の住民		対象者数	2		単位あたりコスト	543.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	市営みわ上川合住宅(二戸一棟)の修繕や備品購入等を行い、移住希望者の受け入れ態勢を整える。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	8	施設の修繕						
	使用料及び賃借料	39	有線テレビ(光回線)利用料						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	390	389	390	306
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	390	389	390	306	
予算財源内訳	① 一般財源	240	239	240	156
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	150	150	150	150
決算情報	① 流充用額	△ 235	△ 277	0	0
	② 配当予算	155	112	0	0
	③ 執行額	152	47	0	0
	④ 執行率	98.2%	41.8%		
概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.16/0	0.13 /	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,280	1,040	1,040	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,432	1,087	1,040		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	お試し住宅使用料(三和支所)	種類	総務使用料	実績金額	120	決算付属資料	8	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	管理戸数	戸	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
入居戸数	戸	2/2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	修繕箇所	か所	3 / 2	1 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		119.67	152.00	23.41	/	
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人口増加につなげるとともに、都市圏の移住希望者の支援策として必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	お試し住宅使用料を徴収し、歳入を確保している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	お試し住宅に一定期間居住することで、地域の魅力を感じて、定住につながる。R1年度も1件の定住者があった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成28年度からの事業開始後、入居者が途切れることなくある。都市部から見ると田舎暮らしが魅力であり、応募者多数で入居選定を行っている。地元の受入れ態勢が手厚く、退居後も三和地域への移住につながっている。移住率は80%と高い。		
これまでの課題及び今後の方向性	移住後も三和地域協議会と連携し、移住者交流会などで移住の推進、移住後の支援を行っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	530101	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁
施策体系	施策コード	060501		施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する								
計画期間	開始年度	平成7年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	鬼の里Uターンプラザ条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	お試し住宅管理事業(大江地域)、定住促進住宅管理運営事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市に移住定住を希望する人に、一定期間Uターンプラザで生活してもらい、その間に定住に必要なこと(住居・知識・人脈等)を身につけてもらうことにより、本市への移住定住者の増加を図る。								
対象者	福知山市への移住定住希望者		対象者数	40		単位あたりコスト	183.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	榊丹新ビルサービス								
事業概要 (簡潔書き)	鬼の里Uターンプラザ1(公庄地内)10室及び同プラザ2(波美地内)30室の維持管理を行う経費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	18	Uターンプラザ運営委員報酬						
	需用費	1,054	外壁灯修繕、浴室、トイレ換気扇修繕 他						
	役務費	309	室内クリーニング、建物共済分担金、郵送料						
	委託料	22	消防設備点検業務委託料						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,662	1,638	1,509	1,533				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,662	1,638	1,509	1,533					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,662	1,638	1,509	1,533				
決算情報	① 流充用額	△ 152	△ 106	0	0				
	② 配当予算	1,510	1,532	0	0				
	③ 執行額	1,421	1,402	0	0				
	④ 執行率	94.1%	91.6%						
概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25/0.97	0.49 / 0.80	0.49 / 0.80	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,425	5,920	5,920	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,846	7,322	5,920						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	鬼の里Uターンプラザ使用料(現年度分)	種類	総務使用料	実績金額	1,402	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入居戸数	戸	14/40	17/40	19 / 40	/ 40	40
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ハウスクリーニング実施戸数	戸	7/9	7/8	2 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		307.29	203.00	701.14		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	移住定住者を呼び込み、子育て世代の定住者を増加させることで、人口の増加につながり、いいては地域力の向上にも期待がもてるため、市民や社会のニーズに沿った事業である。公営住宅であるため、比較的使用料の額も抑えられており、民間事業者では困難である。福知山市においても年々過疎高齢化が進む中で、定住を促進し、地域活力の増進を目的とした当事業の優先度は高いと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	住宅使用料を徴収して歳入を確保している。状態によってはハウスクリーニングを発注せず、こちらで清掃を実施するなどコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標を満室としているが、経年劣化による外観の汚れ等もあり、入所希望者を増加させることが課題である。活動実績はハウスクリーニングの実施戸数としており、内装はクリーニングを実施し、美しい状態で提供している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	今後益々少子高齢化が進む中で、移住定住者の受け入れ施設を維持管理し、人口増加を図ることを目的とした当事業において、退所者の転居先として市外に流出する数よりも市内に止まる数のほうが多いことは、一定目的を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	経年劣化による外観の汚れ等があり、入所希望者が現地見学の段階で辞退をされることがしばしばあった。入所戸数を増加するためにはどうすればよいかがこれまでの課題であった。今後においては、効果的なPR手法を検証し、入所につながりやすい方面への情報提供を推進していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>鬼の里Uターンプラザ1・2の管理・運営に係る経費。 移住・定住希望者に一定期間鬼の里Uターンプラザで実際に生活をしてもらい、その間に本市への移住・定住に向けたビジョンを確立してもらおう。しいては定住者の増加を促す。 今後も、定住インストラクターと連携を密にしながら、良好に施設を管理し、適切に運営を行う。</p> <p>【H30棚卸しによる取組状況】施設のあり方及び管理方法については、まちづくり推進課をはじめ、住宅所管課が集まり協議をおこなった。 引き続き現在の形態で管理運営を行う。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	定住促進住宅管理運営事業									
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦		
会計情報	事業コード	530103	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計 決算付属資料 92 頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する						
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	福知山市大江町定住促進住宅条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	若者の定住施設の確保により定住を促進し、地域活力の増進を図る								
対象者	福知山市への移住定住希望者	対象者数	30	単位あたりコスト	155.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	榊丹新ビルサービス								
事業概要 (簡潔書き)	鬼の里定住促進団地(二俣地内)30室の維持管理を行う経費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	44	浴室換気扇取替、キッチン水栓修繕 他						
	役務費	301	室内クリーニング、建物共済分担金、郵送料						
	委託料	11	消防設備点検業務委託料						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	357	353	311	394				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	357	353	311	394					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	357	353	311	394				
決算情報	① 流充用額	△ 91	93	0	0				
	② 配当予算	266	446	0	0				
	③ 執行額	208	356	0	0				
	④ 執行率	78.1%	79.7%						
概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28/0	0.54 / 0.00	0.54 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,240	4,320	4,320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,448	4,676	4,320						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	定住促進住宅使用料(現年度分)	種類	総務使用料	実績金額	356	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入居戸数	戸	14/30	17/30	19 / 30	/ 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ハウスクリーニング実施戸数	戸	1/3	4/4	4 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		718.00	52.00	89.01	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	移住定住者を呼び込み、子育て世代の定住者を増加させることで、人口の増加につながり、 している地域力の向上にも期待がもてるため、市民や社会のニーズに沿った事業である。 公営住宅であるため、比較的使用料の額も抑えられており、民間事業者では困難である。 福知山市においても年々過疎高齢化が進む中で、定住を促進し、地域活力の増進を目的とした 当該事業の優先度は高いと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	住宅使用料を徴収して歳入を確保している。 状態によってはハウスクリーニングを発注せず、こちらで清掃を実施するなどコスト削減に努 めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標を満室としているが、経年劣化による外観の汚れ等もあり、入所希望者を増加させ ることが課題である。 活動実績はハウスクリーニングの実施戸数としており、内装はクリーニングを実施し、美しい 状態で提供している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	今後益々少子高齢化が進む中で、移住定住者の受け入れ施設を維持管理し、人口増加を図ることを目的とした当該事業において、退所者の転居先として市外に流出する数よりも市内に止まる数のほうが多いことは、一定目的を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	経年劣化による外観の汚れ等があり、入所希望者が現地見学の段階で辞退をされることがしばしばあった。 入所戸数を増加するためにはどうすればよいかこれがこれまでの課題であった。 今後においては、効果的なPR手法を検証し、入所につながりやすい方面への情報提供を推進していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し	定住促進住宅の管理・運営に係る経費。 高齢化が進む地域において、若者向けの「定住促進施設」を拠点として、地域活力の増進を図る。 今後も、施設を良好に管理し、適切に運営を行う。 【H30棚卸しによる取組状況】施設のあり方及び管理方法については、まちづくり推進課をはじめ、住宅所管課が集まり協議をおこなった。 引き続き現在の形態で管理運営を行う。
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性						
事業名	お試し住宅管理事業(大江地域)					
事業担当	所属	地域振興部 大江支所	所属長	吉田和彦		
会計情報	事業コード	530104	款	02 総務費	項	01 総務管理費
					目	11 地域交流推進費
					会計	01 一般会計
						決算付属資料
						頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する		
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	
根拠法令等	福知山市お試し住宅条例					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()					
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合					
関連事業	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業					

II 事業基礎情報						
事業目的 (あるべき姿)	市外から福知山市への移住を希望している人が、一定期間本市の気候・風土及び生活を体験できる施設として整備し、移住・定住の促進につなげる					
対象者	福知山市への移住定住希望者	対象者数	4	単位あたりコスト	485.0	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					
委託先・実施主体等						
事業概要 (箇条書き)	鬼の里Uターンプラザ1(公庄地内)の2階部4室をお試し住宅として維持管理を行う経費					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容			

III 予算執行状況						
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	173	111	551	101	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	173	111	551	101		
予算財源内訳	① 一般財源	115	27	445	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	58	84	106	101	
決算情報	① 流充用額	6	0	0	0	
	② 配当予算	179	111	0	0	
	③ 執行額	118	0	0	0	
	④ 執行率	65.7%	0.0%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.07/0.03	0.18 / 0.20	0.18 / 0.20	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	635	1,940	1,940	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	753	1,940	1,940			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	お試し住宅使用料(大江支所)	種類	総務使用料	実績金額	0
	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料
	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入居戸数	戸	2/2	2/2	4 / 4	/ 4	4
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ハウスクリーニング実施戸数	戸	1/2	2/2	0 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		48.00	59.50	485.00	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>移住定住者呼び込み、試行的に居住をしてもらいながら定住先を確保してもらうことを目的としており、人口の増加につながる市民や社会のニーズに沿った事業である。期間が限定された試行的な居住であるため、使用料の額も抑えられており、民間事業者では困難である。</p> <p>福知山市においても年々過疎高齢化が進む中で、定住を促進し、地域活力の増進を目的とした当事業の優先度は高いと考える。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>住宅使用料を徴収して歳入に充当している。状態によってはハウスクリーニングを発注せず、こちらで清掃を実施するなどコスト削減に努めている。</p>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<p>成果目標は満室としており、現在も満室の状態である。</p> <p>活動実績はハウスクリーニングの実施戸数としており、内装はクリーニングを実施し、美しい状態で提供している。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市を大変気に入れられ、これを機に定住をするつもりであるとの本年度退所者の声が聞けるなど、一定目的を達成していると考ええる。		
これまでの課題及び今後の方向性	これまでは、整備済の部屋数が2部屋であったため入所戸数が限られていたが、さらに2部屋を整備して受け入れにあたる。		

VI 他部署評価

事中山業評価	
事後事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し	<p>お試し住宅(大江地域)の管理に係る経費。</p> <p>市外から福知山市へ移住を希望している人が、一定期間本市での生活を体験できる施設として鬼の里リターンプラザ1(公庄)の2階4室を「お試し住宅」として管理する。このことにより、本市への移住・定住者の増加につながる。</p> <p>今後も、定住インストラクターと連携を密にしなが、良好に施設を管理し、適切に運営を行う。</p>
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	非農用地造成事業									
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿		
会計情報	事業コード	530106	款	01 事業費	項	01 宅地造成費	目	01 宅地造成事業費	会計	07 宅地造成 決算付属資料 290 頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する						
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	戸田地区計画				
根拠法令等	戸田地区非農用地造成事業 宅地分譲に関する要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	由良川改修事業に伴い集団移転先住宅用地をほ場整備事業区域内に確保・造成し、代替地として分譲、地区計画を導入し「農」と「住」の一体的な整備を図り、新しい「田園住区」を創出する。								
対象者	戸田地区住民	対象者数	289	単位あたりコスト	76.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	畿北冷熱(株)								
事業概要 (箇条書き)	非農用地造成事業に要する一般経費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	前年度繰上充用金	19,349	前年度歳入歳出不足額の補填						
	需用費	413	戸田地区雨水排水ポンプ場電気代						
	報償費	221	戸田地区造成地除草作業謝礼金						
	委託料	198	戸田地区雨水排水ポンプ場保守点検業務						
役員費・旅費	94	郵送料2千円・旅費92千円							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)			R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	22,400	23,200	25,100	28,028				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	22,400	23,200	25,100	28,028					
予算財源内訳	① 一般財源			0	0				
	② 国支出金			0	0				
	③ 府支出金			0	0				
	④ 地方債			0	0				
	⑤ その他特財	22,400	23,200	25,100	28,028				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	22,400	23,200	0	0				
	③ 執行額	19,771	20,274	0	0				
	④ 執行率	88.3%	87.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.13 / 0.00	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	1,840	1,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,811	22,114	1,840						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	財産貸付収入	実績金額	11	決算付属資料	288	頁
	特財名称	土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	317	決算付属資料	288	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	未売却地販売実績	区画			0 / 10	/ 10	10		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	戸田地区雨水排水ポンプ場保守点検業務発注件数	件			1 / 1	/ 1	1		
	単位あたりコスト				20274.10				
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	河川改修に伴い集団移転先用地を確保・造成し、地区計画を導入し代替地として分譲するものであり、市で取り組むべきものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	造成地の管理、安全確保及び未売却地の販売のために必要最低限の費用を確保するものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域の環境美化、浸水被害の防止を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	災害時に戸田地区の浸水を防ぐため、戸田地区雨水排水ポンプ場の維持管理を行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	引き続き、造成地の管理、安全確保及び未売却地の販売促進に努める。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中学業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	【令和元年度棚卸しによる取組状況】 <input type="checkbox"/> 不動産鑑定評価を実施し、分譲価格の見直しを行う。 <input type="checkbox"/> 戸田地区非農用地造成事業造成宅地の周知のため、各種媒体を活用した広報活動を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---